

いま、私は現代アートと出会う

—草間彌生、奈良美智、村上隆、アンディ・ウォーホル、バンクシー・・・

展覧会の見どころ

1. 国際的に高く評価されるアーティストの作品が一堂に

草間彌生、奈良美智、村上隆、アンディ・ウォーホル、バンクシーといった、国際的に高く評価される日本および海外のアーティストによる代表作を一堂に御覧いただけます。

【出品作家】(44 人)

荒川修作、イケムラレイコ、石田徹也、伊藤存、植田正治、大竹伸朗、香月美菜、加藤泉、河原温、草間彌生、五木田智央、小林孝亘、塩田千春、白髪一雄、菅木志雄、高松次郎、田中敦子、中西夏之、奈良美智、名和晃平、村上隆、元永定正、吉原治良、李禹煥、アニッシュ・カプア、アライン・ビルテレスト、アンゼルム・キーファー、アンディ・ウォーホル、アンドレアス・グルスキー、オラファー・エリアソン、キャスリーン・ジェイコブス、グザヴィエ・ヴェイヤン、サイ・トゥオンブリー、ジェフ・クーンズ、ジャスパー・ジョーンズ、ジュリアン・オピー、ジョアン・ミッチェル、ダミアン・ハースト、デイヴィット・ホックニー、トーマス・ルフ、ナムジュン・パイク、バンクシー、フランク・ステラ、ロイ・リキテンスタイン

2. 日本で紹介される機会の少ない海外作家の貴重な作品も

アンゼルム・キーファー自身の自宅に長く展示されていたという《罌粟と記憶—パウル・ツェランのために》をはじめ、日本国内で展示される機会の少ない海外作家の貴重な作品を紹介します。

3. 国内有数の個人コレクションをまとまった形で公開

本展では、個人コレクションならではの希少な作品群を一堂に紹介します。これまで一般公開の機会がほとんどなかった作品をはじめ、国内外の重要作品を御覧いただけます。

4. 現代アート初心者にも親しみやすい5章構成

現代アート鑑賞の入門編としても御覧いただけるよう、「色やかたち」「光」「人」「線」「風景と記憶」という身近なテーマを手がかりに作品を紹介します。難解と思われがちな現代アートを直感的に楽しみながら鑑賞できる構成となっています。

「いま、私は現代アートと出会う」広報用画像 及び特集企画への招待券の提供について

各媒体での広報用画像の使用を希望される場合、または特集企画への招待券提供を希望される場合は、以下に示す専用フォームからお申し込みください。

1. 広報用画像の使用について

(1) 次の5作品の画像を使用できます。

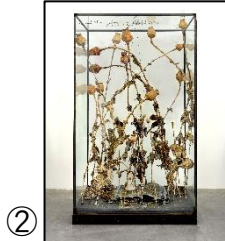
①大竹伸朗《網膜/パルサー1》2021年

②アンゼラム・キーファー《罌粟と記憶ーパウル・ツェランのために》2014年

③香月美菜《5:21:10》2021年

④小林孝亘《House》2008年

⑤白髪一雄《古史》1982年



(2) 使用を希望される場合には、次の専用フォームから注意事項を御確認いただき、お申し込みください。

<https://logoform.jp/form/GQGB/1843264>



画像使用申込

2. 特集企画への展覧会への招待券の希望について

(1) 本展覧会取材いただき、特集企画として取り上げていただける場合には、特別展の招待券を提供することが可能です。

(2) 希望される場合には、次の専用フォームから注意事項を御確認いただき、お申し込みください。

<https://logoform.jp/form/GQGB/1843282>



招待券提供申込